



がくじ



摂南大学図書館報

No. 79

2005.4

学而時習之、不亦説好乎。(「論語」より)

- 学まよびて時にこれを習よう、亦まよた説よばしからずや -

\*題字は王羲之の書による

## 新入生の皆さんへ

図書館長 山田 澄



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。合格通知が届いてから、大学での4年間をどの様に過ごそうかと、夢をふくらませておられたのではないかと思います。大きな志を持って入学された人も、これから将来の目標を探そうとされている人も、4年後には目的が達成され、激変する社会に果敢に挑戦できる社会人に成長されることを心から願っています。

ところで、皆さんは「温故知新」と言う四字熟語をどこかで見聞きされたことがあると思います。これは紀元前6世紀の中国の思想家で儒教の創始者である孔子(551B.C. ~ 479B.C)とその弟子との会話を記録した「論語」の中の一節「子曰く、故ふるきを温あためて新あたらしきを知れば、以て師し為いる可べし」に由来し、格言として多くの人によって引用されてきています。この意味は「これまでの学説や過去の事例をじっくりと学んで理解すれば、その中から新しい意義や考えを発見することができる」ということで、孔子が人の上に立つ人の資質について述べた言葉です。「師」は必ずしも「先生」と解釈しなくても、人の上に立つ人、リーダーとなる人と考えると、この言葉は、社会に貢献できる創造性豊かな人材に成長して頂きたい皆さんに最もふさわしい言葉ではないかと思います。ぜひこ

の「温故知新」を实践して頂きたいと思います。

具体的に故ふるきを温あためるためには自学自習を實行しなければなりません。そこで、皆さんに自らすすんで多くの本を読んでいただきたいのです。2500年前も、この情報化社会の今も、限られた時間の中で幅広い知識を獲得し豊かな経験を積み重ねる最高の方法は、沢山の本を読むことです。読書を通して先人たちの経験を疑似体験できます。様々な人生や考え方があることを知ること、自分の進むべき道を見直すこともできます。歴史的事例の中に必ず真実が含まれているものであり、また、これまでの失敗例を学ぶことが新しい道への近道になるはずで

大学に来ると言うことは知識が詰まった宝の山に足を踏み入れることと同じで、その積もりになれば、頭にも鞆にも抱えきれないほどの宝を詰め込んで持ち帰ることができるのです。本学図書館所蔵の50万冊を超える図書を皆さんの自分磨きと自己の確立に役立て頂ければ幸いです。もし、図書館で読みたい本が見つからないときには躊躇せず「学生希望図書購入制度」を利用してください。

### CONTENTS

新入生の皆さんへ (山田 澄) .....	1
教員から新入生へ「図書館のおすすめ」 ...	2・3・4
卒業生から新入生へのアドバイス ...	4・5・6

新図書館紹介 .....	6
DVD紹介 .....	7
INFORMATION .....	8



## 教員から新入生へ…「図書館のおすすめ」

### 図書館利用の動機



工学部都市環境システム工学科 助教授 熊野 知司

図書館は情報の宝庫である。摂南大学の図書館にも膨大な蔵書だけにとどまらずビデオやDVD等の視覚媒体が収録されている。利用者は、これらの情報から先人達が見出した法則や考え方を知ることができ、自分の知識や教養の幅を広げることができる。これが図書館を利用する正しい動機であることは、私も否定しない。

私は、大学時代に頻繁に図書館を利用していた。しかし、利用の動機が先に述べたものであったかという、それは違うような気がする。勿論、卒業論文や修士論文をまとめるにあたっては、先人達の知識を膨大な文献の中から読み取ろうとして図書館通いを続けたが、図書館を利用する動機は違うところにあった。それは、人との触れ合いである。図書館に行くとき多くの人々が黙々と調べものをしている。そんな後ろ姿を見て、自分も触発される。人々に混じって友人もいる。話をしてみると授業で出された課題を自分とは別の切り口でまとめようとしている。課題の意図は何なのか？レポートのレベルはこれでいいのか？友人と議論が始まる。そして、休憩スペースでは、友人達と仕入れた知識を披露しあいながら、いつしか、話題は将来の夢へと向かう。そう、まさしく人との触れ合いを求めて図書館を利用していたのだ。

現在は高度情報化社会になり、携帯電話や自宅のパソコンを使って多くの情報が取り出せるようになった。便利になった反面、人とのコミュニケーションが減り個人の人間形成に変化があらわれているように感じる。人と人との触れ合いを求めて図書館を利用する。そんな利用動機があっても良いように思う。

### 大学1年の思い出



外国語学部 助教授 岩間 香

高校時代、とくに優秀でもなかった私は、日々の勉強に追われて、ろくに本を読んでいなかった。一浪の末ようやく大学に入った時もそのことが後ろめたく、自分と「大学生」のイメージとの間にギャップを感じたものである。ちょうどその頃、父が熱心に本を読み始めた。曰く「本というものは読むのに体力がいる。今読んでおかんと、年をとったら読めなくなる。」というのである。父は50代になり老後を思うようになっていたのだろう。それを聞いた私は「とりあえず長い本を読もう」と決心した。とはいえ本を買うお金がない。そこで図書館で小説を借りて読むことにした。

まずは世界の名作といわれるものを、長い順に読むことにした。当時、文庫本で最も長いのはブルースト『失われた時を求めて』全10巻。読んでみると面白い。片道1時間半の電車の通学時間があっという間に過ぎていく。図書館の本には貸出者の名前を書く欄があったが、巻が進むにつれ名前は減っていき、9巻目からはついに最初の貸出者となった。もうこうなると痛快でたまらない。先生が講義に現れるまで、10分でも時間があれば本を広げるようになった。

大学時代の最初はこうして「長い」本を攻略し続けた。ショーロホフ『静かなドン』全8巻、丹羽文雄『蓮如』全8巻を読んだのもこの頃である。その後ようやく本は「内容」で選ぶようになったが、あの時に長大な小説を読んでおいてよかった、と最近つくづく思う。かつての父の年齢に達した今、体力も能力もない私は小説を読む時間が作れない。学生時代には何よりも自分のために使える時間があふれているということ、新大学生たちに伝えたい。

## 「好奇心」を持ち、 「思考」し、「表現」する。



経営情報学部経営環境情報学科 助教授 杉本 篤信

最近の学生の方と、「何か面白いことはない?」「興味あることは何?」という会話がなかなかできなくなってきました。

一つには、私の年齢が高くなったことによる様々なギャップによるものですが、それだけではないようです。私なりに感じることは、彼らが、自分の興味を持つことがない(少ない)、またはそれを伝える技術(気持)がないことです。

私が皆様に望むことは、まず「好奇心」を持って下さい。自分の興味を引くこと、感動できることを自分で探してください。そしてその対象に対して、なぜ自分はそのことが気になるのか、自分自身がどのように働きかけることができるのかなど、よく「思考」して下さい。次にその自分の考えを周りの人に言葉で「表現」し、発信して下さい。そのために、具体的に何をやればよいのでしょうか。

まずできるだけ多くの本と人に触れ合うことです。本にはあなたの一生を決めるような感動があるかもしれません。また別の本では、先人の「思考」や「表現」の方法が学べるかもしれません。そして、自分で考え、それをひとに話したり、文章にしたりして、自分なりの「表現」を実践してください。大学時代にそれをやるには、図書館の有効利用と、語り合える友人(先生を含む)をたくさん作ることです。学生の皆様は、能力や可能性は無限ですが、時間は無限ではないのです。

## 自分探し的手段として 図書館を利用しよう



法学部 助教授 糟谷 英之

大学に入学し、「これから君は何をしようと考えていますか?」「将来の夢は何ですか?」、と問われたときに、果たしてあなたならどう答えますか? 例年多くの新生からは、「わからない」

といった答えが返ってきます。これは正直な答えだと思います。今日若者にかぎらず多くの人たちが自分にとってどのように生きることが幸せであるかを実感できない状況があります。文化人類学者の上田紀行氏の言葉を借りれば、まさに「生きる意味」が見えない状況といえるのではないのでしょうか。

私にも正直言って答えはわかりませんが、大学で勉強するというのは、この「自分とは何か」、「社会(世界)とは何か」、大げさに言えば「生きる意味」を問う一つの作業ではないかと考えています。単により成績を上げるために勉強するのではなく、自分探しのために勉強するのだと思ってほしいのです。従って大学での勉強とは、単に講義に出ることだけでなく、友人関係や社会との関係を通じて行われるということです。

この作業の中で忘れてはならないのが図書館の役割です。講義にしる、友人にしる、社会とのつながりにしる、それぞれ限界があります。これらの限界を取っ払い、今やインターネットを加えれば無限ともいえる情報を提供してくれるのが図書館です。ぜひ大学生活の中で自分探し的手段として図書館も大いに利用してほしいものです。

## フランダースの犬と フマニオールコーナーについて



薬学部薬学科 教授 稲田 昭

みなさんが最初に書物に触れあったのは、何歳ぐらいでしょうか? 主体的に書物に興味を持つのは、いわゆる「物心」がついてからという事になるでしょうが、実際は、乳児期から幼児期の頃にご両親に読み聞かせしてもらった絵本や童話がきっと最初になるのではないかと思います。

先日、NHKの番組で、幼い頃に出会った絵本や童話が大人になっても深く愛され読み続けられていることが紹介されていました。コメンテーターとして、「犠牲」、「死の医学への日記」など、人の生と死に係わる事柄をご自身の体験や綿密な取材をもとに描かれている、柳田邦男氏が紹介されました。薬学部所属でもあり、わたし自身は、氏の本について触れる機会がありましたが、氏が絵

本や童話の紹介を大人に対しても精力的に行なっておられることは、全く知りませんでした。この番組の中で、氏が紹介された絵本の一つとして、「フランダースの犬」があります。ストーリーについては、テレビアニメで紹介されたこともあり、みなさんご存知の方が多いかと思いますが、最後の夜に念願だったルーベンスの絵を見てネロ少年が口にした言葉をみなさんは、ごぞんじでしょうか？ それは、「神さまありがとうございます。もうこれで充分です。」という感謝の言葉なのですが…。たとえ短くても、より良く生きた一生は、決して不幸ではないということを作者は言いたかったのでしょうか？

話はかわりますが、図書館の中にフマニオール(ラテン語で「人間的な」という意味)コーナー

があります。ここには、「フランダースの犬」や「犠牲」をはじめ、教職員が選んだみなさんの「心の糧(かて)」になる多くの書物が配架されています。人間関係や勉強に疲れたときなど、ぜひこのコーナーの本に触れあってみて下さい。ジャンルを越えて優れた本は、みなさんのこれからの人生をきっと豊かにしてくれるに違いありません。



## 新入生のみなさんへ！

### 卒業生からのアドバイス

#### 「利用する価値」



工学部電気電子工学科 2004年度卒 榊きんでん

うす い ひろ まさ  
臼 井 宏 征

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私にとって電気は難しく、学校の講義だけでは分からない部分はずい出てきました。最初は、図書館というものがあながらほとんど利用していませんでした。でも授業で教科書だけではできない課題を出された時に、図書館に足を運んで調べました。それから、少しずつ利用する回数が増えていきました。調べることによって、少しでも知識が増え、また図書館を利用することによってどこにどんな本があるかを把握し、どの本を調べればいいのかということが分かりました。ただ勉学のためにだけでなく、就職の時、旅行に行くとき、家で勉強に集中できない時、試験前などに利用させていただきました。4回生の卒業研究をする時には自分の研究が調査・研究だったので図書館を利用しない日がなく、とても卒業研究に大いに役立ちました。

図書館はとても便利で、見たい本を検索できたり、欲しい本があれば購入してもらえます。どんどん利用することによって自分なりの図書館活用法が見つかると思います。

大学生活は長いようであつという間に過ぎてしまいます。時間を上手に使って楽しい大学生活にしてください。

#### 図書館を 有効利用しよう。



国際言語文化学部 2004年度卒 佐川急便(株)

あさ ぬま み ほ  
浅 沼 美 穂

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。憧れの大学生活が始まり、何かに挑戦したいと思い描いていることはたくさんあるでしょう。しかし、大学生活4年間というのは長いようであつという間に過ぎてしまいます。この4年間を有意義に過ごすためには「自分の時間」を持つことが大切です。その中で、ひとつお勧めしたいのが、図書館を有効利用することです。

図書館は堅苦しいところと考えずに、まず足を運んでみてほしいです。自分の興味あることから調べてみると、様々な発見があると思います。またレポート作成や試験勉強をするのに、図書館は静かで勉強しやすい環境です。閲覧室は夜遅くまで解放されているので、家で集中して勉強できないときはよく活用しました。さらに、私は一人暮らしであったため、新聞を読む機会はあまりありませんでしたが、就職活動をする時期になると時間をみつけては新聞を読む習慣をつけるようになりました。

次に、私がよく利用したのは、就職や資格試験等の対策本です。何冊も本を購入するとお金が高くかかりますが、図書館で借りてきて、自分が気に入ったものだけを購入するようにしました。また、英語力を高めるために、英語のニュースや会話などのCDを録音して通学時間や空いている時間をみつけては、聞くように心がけました。また洋画のDVDもたくさん観ました。英語に集中して、どれだけ英語を聞き取れるか試していくと段々とリスニング力も上がってきて、資格試験にも活かせることができました。

このように図書館の利用法は人によって様々です。「自分の時間」をどのように利用するかによって大学生活は大きく変わってくると考えます。自分の将来について、早い段階から準備しておくことはとても重要です。経験を重ね、知識を身につけると共に、皆さんが充実した大学生活を送れることを願っています。

## 図書館から 有意義な学生生活を



経営情報学部経営情報学科 2004年度卒 富士通テン(株)

まず い はじめ  
増 井 創

新入生のみなさま入学おめでとうございます。大学生活は今までの高校生活とは違うと思います。そして、入学してから慣れるまで少し戸惑うと思います。

しかし、慣れるととても楽しい学生生活がおくれることだと思います。

大学の図書館は、高校の図書館とはひと味違う

ものだと思います。

DVDや雑誌、新聞から学术论文まであります。DVDや雑誌は授業の合間の時間つぶしに利用できます。図書館には閲覧室があり、集中して勉強するにはとても静かでいい場所です。

私は、授業のレポートを作成する際や資格勉強、卒業論文を作成するために図書館を利用しました。自分が読みたい図書があった時は、「希望図書購入制度」を利用することで、図書館に図書を発注してもらうことができます。

他にも、摂南大学の姉妹校、例えば大阪工業大学にある図書を検察し、取り寄せてもらうことも可能です。また、夏休みや冬休みには図書の長期貸し出しをしてくれるのでまとめて勉強する時はとても便利です。

自分のライフスタイルに合わせて、上手く図書館を利用してみてください。

そして、大学生活をおおいに楽しみ意味のある時間、そして社会に出る準備期間としてがんばってください。

## 自分にあった利用法を



法学部 2004年度卒 国土交通省

うじ はら ひさと  
氏 原 央 人

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大きな期待と希望を胸に、摂南大学での学生生活が始まっていることだと思います。摂南大学で何を学んでいくのかは、人それぞれだと思いますが、これからの4年間は、ぜひ充実した学生生活を送って下さい。そして、多くの友達をつくって下さい。

さて、高校までの学校と大学では、違う面がたくさんあると思いますが、図書館の規模の違いもその一つではないでしょうか。摂南大学の図書館は、書籍の数が多くまた種類もたくさんあります。私は、よく講義が終わって次の講義が始まるまでの時間を、友達と一緒に図書館で過ごしていました。摂南大学の図書館には、色々な雑誌も置いてあるので、ちょっとした時間を過ごすのにも大変便利な場所となっています。もちろんのことながら難しい学術書も豊富にあるので、レ

ポートの提出の時には大変お世話になることだと思ひます。私も大変お世話になりました。その他にも、DVDやビデオを鑑賞する場所もあり、図書館は色々な人が様々な目的で使用する事ができます。そのため、一口に図書館といっても人それぞれ多くの利用法があるのです。せっかく、4年間お世話になる大学なので、思う存分自分なりに、図書館を利用しましょう。本を読むため、勉強するため、また友達と過ごしたり、ビデオを見たり等、人それぞれ使い方は自由です。自分にあった利用法を見つけ、大学4年間に有意義に過ごすための一助として下さい。

### 「小旅行」



薬学部薬学科 2004年度卒 中外製薬(株)

ありもとけん  
有本賢

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に、期待と不安でいっば

いのことと思ひます。

学生生活を充実したものにするには、何事にも積極的にチャレンジすることが大切だと思ひます。そこで、私がひとつお勧めしたいのが、少しでも読書の時間を持つことです。薬学部の皆さんは、多くの授業と夜遅くまでの実験があり、時間を作ることがとても困難ですが、ぜひ読書の時間を作ってほしいと思ひます。私の場合は大学までの通学時間に片道で2時間もかかっていたので、自然とこの時間が私にとっての「読書の時間」となっていました。往復4時間の「小旅行」を苦痛なく、楽しく過ごすことができたのは、図書館で借りた様々なジャンルの本との出会いがあったからだと思ひます。長い通学時間も、何もしなければ無駄な時間ですが、有効に活用することで自分の内面をじっくりと育てることができます。

皆さん、4年間は長いようでとても短いものです。限られた時間を有効に使って、多くの出会いや経験を重ね、楽しい大学生活を過ごして下さい。

# 2006年4月 新図書館OPEN!

2006年4月に新10号館が完成し、地下1階から3階までが新しい図書館としてOPENします。フロア面積・蔵書数が2倍以上になり一部の閲覧室からはインターネット(ノートパソコン持込み)に接続できます。また、3階に設置されるAVホールは席数120で大型スクリーンを設置し各種研究会、講演会、上映会など多目的に利用できるホールとなっています。





本館4階の視聴覚室にある資料を一部紹介します。

世界の中心で愛をさけぶ	ロード・オブ・ザ・リング シリーズ	パールハーバー
下妻物語	ハリーポッター シリーズ	ハルク
キューティハニー	マトリックス シリーズ	戦場のピアニスト
ゲロッパ!	キル・ビル 1, 2	ターミネータ3
半落ち	バイオハザード 1, 2	24 1・2・3シリーズ
座頭市	チャリーズエンジェル 1, 2	ビッグ・フィッシュ
ロボコン	スパイダーマン 1, 2	ディズニーアニメシリーズ
ホテルヴィーナス	キングアーサー	シュレック 1, 2
ピンポン	トロイ	インファナルアフェア
ゼブラーマン	パイレーツ・オブ・カリビアン	ブラザーフッド
凶気の桜	アイ・ロボット	猟奇な彼女
ジブリコレクション	デイ・アフター・トゥモロー	冬のソナタ
アナライズユー	ヴァン・ヘルシング	HERO~英雄~
アナライズミー	華氏911	LOVERS

## 摂南大学映画研究部制作DVD

2004年摂南大学映画研究部制作のDVD『闇の深さに』が4階視聴覚室に寄贈されました。

中島裕作君(国際言語文化学部 2004年度卒)脚本・監督の作品です。脚本から撮影、編集に約1年かけ制作された62分の長編です。

映画研究部の部員は少なく、撮影と出演者をかけもちしたり、ロケ中に近所の人から血糊を本当のケガと間違えられたり、大学の学生相談室をロケ場所にして抗争シーンを撮影していると大声が廊下に聞こえ(迫真の演技!)喧嘩していると思った学生が学生課に駆け込んできたりと色々苦労の末、完成した力作です。ぜひ、鑑賞してみたいかがですが。



中島裕作君

## 2004年度休日開館入館者数

実施日	場所	本館	分館
7月11日(日)		149	590
7月18日(日)		401	627
7月19日(月・祝)		866	746
合計		1416	1963
前年度比		123%	115%
1月9日(日)			310
1月16日(日)			540
1月23日(日)		227	492
2月6日(日)		56	
合計		295	1342
前年度比		105%	110%

開館時間 10:30~16:50

2004年度の休日開館入館者数です。  
前期試験・後期試験共に、利用者が増加しています。

図書館では、2005年度も引き続き休日開館を行う予定です。ご利用ください。

## INFORMATION



### 2005年度ライブラリートゥアー

今年も図書館恒例の「新入生対象ライブラリートゥアー」を実施します。毎回30分程度、図書館員が館内を案内し、パソコンによる所蔵検索の方法などを説明します。大学では図書館を利用せずに学習を進めることは困難です。ちょっとした資料探しのコツや施設の押さえどころなどもお話ししながら進行していきます。図書館の達人になっておくことがこれからの4年間に差をつけます。ぜひ参加下さい!!

ツアー日時 4月 6日(水) 16:30  
4月 7日(木) 8日(金) 10:00 12:20 15:30  
4月11日(月)~14日(木) 10:00 12:20 15:30  
集合場所 7号館5階 参考図書室入口



### 編集後記

新入生の皆さん入学おめでとうございます。  
何もしなくても、色んなことに挑戦しても4年間は同じに過ぎていきます。皆さんの1460日を図書館はあふれる情報でサポートします。課題の資料探しはもちろんですが、迷ったり、見失ったりそんな時も図書館に来てください。自分を変える本との出会いがあるかもしれませんよ。(Y.K)

摂南大学図書館報「学而」 79 2005.4

編集・発行 摂南大学図書館 本館 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL.(072)839-9111

枚方分館 〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1 TEL.(072)866-3102

印刷 サツキ印刷株式会社 〒572-0024 大阪府寝屋川市石津南町8-2 TEL.(072)828-0171